

トカラ列島諏訪之瀬島における冬期の鳥類調査

山元 幸夫

An Ecological Survey of Birds in Winter on Suwanosejima in the Tokara Islands, Kagoshima Prefecture

Yukio YAMAMOTO

はじめに

トカラ列島の島々は、鳥類の渡りの中継地としてよく知られ、春期における生息状況についてはかなり明らかになっている。しかし、冬期の鳥類相についての調査は少ない。

筆者は平成13年12月8日～11日の4日間、諏訪之瀬島で生息調査を実施したので報告する。なお、この島の鳥類について様々な情報をいただいた諏訪之瀬島分校の桐野秀信教頭および、下水流小学校の溝口文男教諭に深く感謝申し上げます。

1 調査地の概要と調査方法

諏訪之瀬島はトカラ列島のほぼ中心に位置する南北約10km，東西約5 km，周囲約25km，面積約22kmの列島中二番目に大きい島である（図1）。島の最高峰の御岳（標高799m）は火山活動が活発で、盛んに噴煙をあげている。

今回の調査は、島の南側の台地一帯とその北側に位置する根上岳（標高470m）で行った。

台地には集落や耕作地、牧場などがあり、ここから根上岳の標高約100mぐらいまではリュウキュウチクによって占められている。標高100m～300mにかけてはタブノキやスダジイを中心とする照葉樹林が形成されている。

調査は、ロードサイド調査と、車で行ける範囲内で島内を移動しながら出現した種をすべて記録する方法をとった。ロードサイド調査は、集落、牧場、それに根上岳の標高約300m付近の照葉樹林で行った。主な観察・調査地点を図2に示した。

2 調査結果と考察

(1) 記録された種

4日間の調査で14科24種を記録した（表1）。これらのうち、ミサゴ、キジ（移入種）、カラ

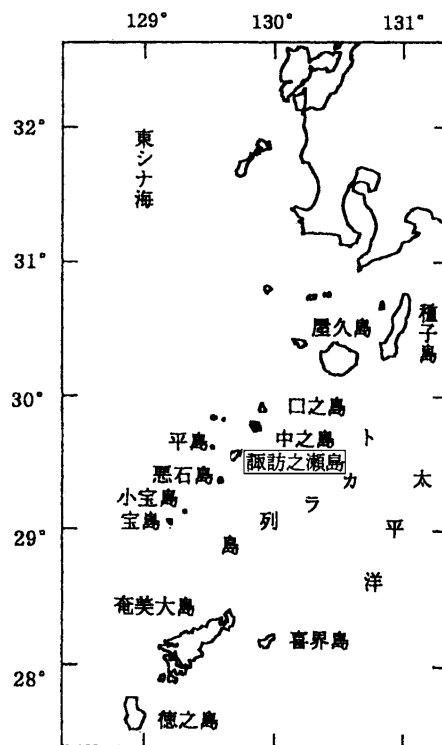


図1 諏訪之瀬島の位置

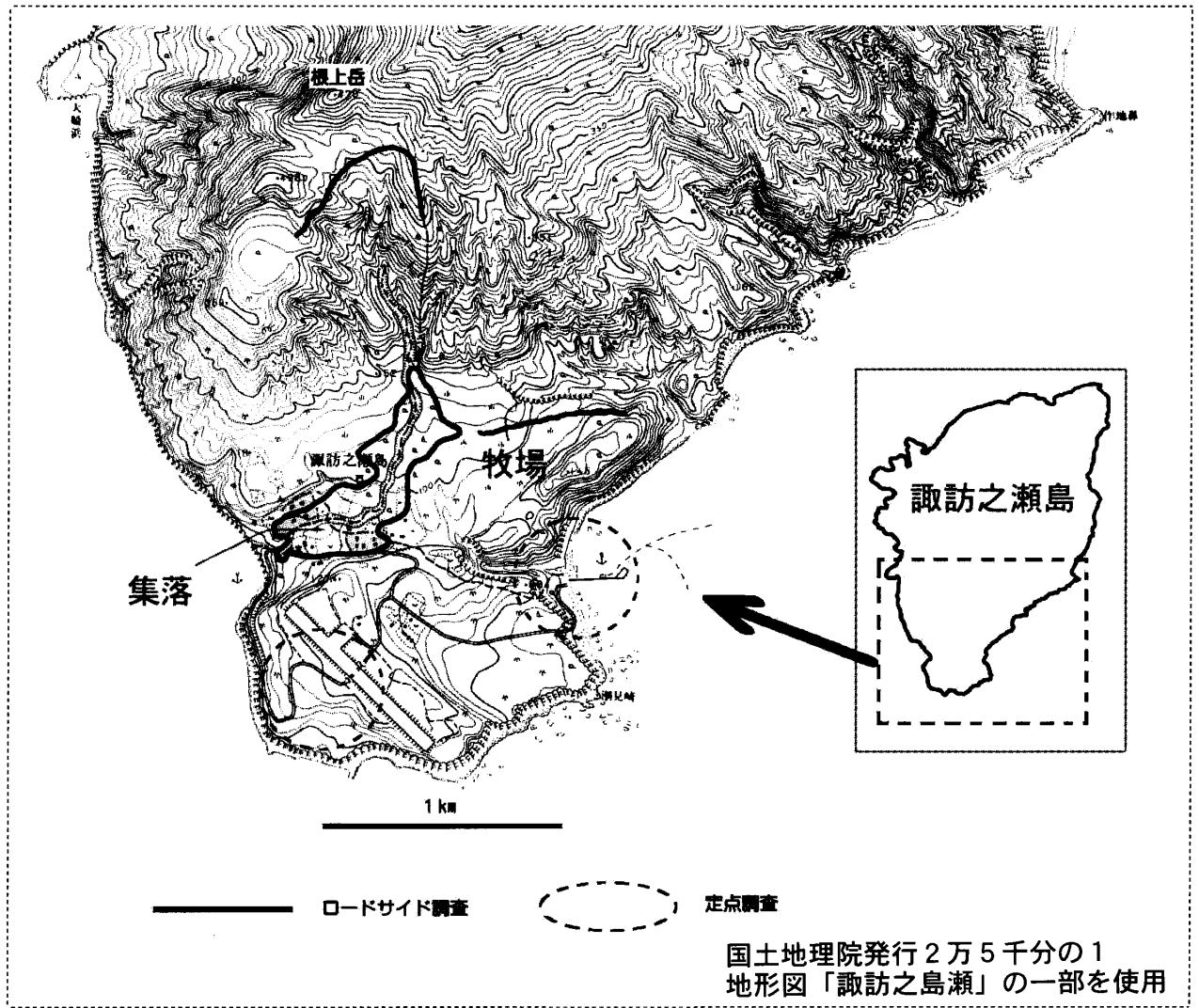


図2 調査地点

スバト、キジバト、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、メジロ、ウグイス、セッカ、ハシブトガラスの計10種はこれまでの記録によると、本島ではほぼ1年中出現しているため、留鳥として生息しているものと考えられる。これらは全て、県本土および近隣の島でも繁殖している。他の14種は冬鳥として渡来したもので、このうち県本土ではハヤブサ、バン、キセキレイ、モズ、ホオアカの5種は繁殖鳥、それ以外の9種は冬鳥として渡来する。

(2) 個体数と優占種

異なる環境にある3地点で行ったロードサイド調査の結果を表2に示した。集落内は屋敷林、リュウキュウチク林、畑、畜舎など細かく見ればいろいろな環境からなる。ここでは14種、時間当たり102個体が記録され、メジロとヒヨドリが優占種であった。両者とも島内で繁殖していると考えられるが、冬期には渡りの個体も加わっているものと推定される。

牧場は、ほとんどリュウキュウチクで占められた単純な植生で、牛が放牧されているため、丈の低い草地となっている。ここで記録されたのは11種、時間当たり27個体で、他の環境に比

べ、個体数が少なかった。優占種はハシブトガラスとセッカで、前者は牛の飼料を食べるために飛来しているようだった。

照葉樹林では9種、時間当たり108個体が記録された。ここでもメジロとヒヨドリが優占種であった。樹冠を飛ぶカラスバトを3羽目撃した以外は、他の環境でも記録された種だけであった。

ロードサイド調査以外で出現した種は、海岸部およびその上空で見られたミサゴとハヤブサの2種であった。

小さな離島においては、ある限られた種の個体数が非常に多くなる傾向があるが、諏訪之瀬島でも同様に、生息種数は少なくメジロとヒヨドリの2種の個体数が非常に多かった。

表1 諏訪之瀬島で記録された鳥類 (2001.12.8-11)

科名	種名	8日	9日	10日	11日
タカ科	1 ミサゴ <i>Pandion haliaetus</i>	○	○	○	
	2 ノスリ <i>Buteo buteo</i>			○	○
ハヤブサ科	3 ハヤブサ <i>Falco peregrinus</i>				○
	4 チョウゲンボウ <i>Falco tinnunculus</i>	○	○	○	○
キジ科	5 キジ <i>Phasianus colchicus</i>	○	○	○	○
クイナ科	6 バン <i>Gallinula chloropus</i>	○	○		
シギ科	7 ヤマシギ <i>Scolopax rusticola</i>	○			
ハト科	8 カラスバト <i>Columba janthina</i>	○	○	○	
	9 キジバト <i>Streptopelia orientalis</i>	○	○		○
セキレイ科	10 キセキレイ <i>Motacilla cinerea</i>	○	○	○	○
	11 ハクセキレイ <i>Motacilla alba</i>	○	○	○	○
	12 タヒバリ <i>Anthus spinoletta</i>		○		
ヒヨドリ科	13 ヒヨドリ <i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○	○	○
モズ科	14 モズ <i>Lanius bucephalus</i>	○			
ツグミ科	15 ジョウビタキ <i>Phoenicurus aureoreus</i>	○	○	○	○
	16 イソヒヨドリ <i>Monticola solitarius</i>	○			○
	17 シロハラ <i>Turdus pallidus</i>	○	○	○	○
ウグイス科	18 ウグイス <i>Cettia diphone</i>	○	○	○	○
	19 セッカ <i>Cisticola juncidis</i>	○	○	○	○
メジロ科	20 メジロ <i>Zosterops japonicus</i>	○	○	○	○
ホオジロ科	21 ホオアカ <i>Emberiza fucata</i>	○			
	22 ミヤマホオジロ <i>Emberiza elegans</i>	○	○	○	○
	23 アオジ <i>Emberiza spodocephala</i>	○	○	○	○
カラス科	24 ハシブトガラス <i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○
14科	24種				

表2 環境別の記録種と個体数, 優占度および密度

No. : 個体数, D(%) : 優占度, No./hr. : 密度

	集 落			牧 場 の 草 地			照 葉 樹 林		
	No.	D(%)	No./hr	No.	D(%)	No./hr	No.	D(%)	No./hr
1 ノスリ							2	2.4	2.55
2 チョウゲンボウ				1	3.7	1.71			
3 キジ				2	7.4	3.43			
4 バン	1	0.8	0.82						
5 ヤマシギ	1	0.8	0.82						
6 カラスバト							3	3.5	3.83
7 キジバト	2	1.6	1.64				2	2.4	2.55
8 キセキレイ	3	2.4	2.47						
9 ハクセキレイ	2	1.6	1.64	3	11.1	5.14			
10 タヒバリ				1	3.7	1.71			
11 ヒヨドリ	29	23.6	23.83				18	21.2	22.98
12 モズ				1	3.7	1.71			
13 ジョウビタキ	1	0.8	0.82	1	3.7	1.71			
14 イソヒヨドリ	1	0.8	0.82						
15 シロハラ	7	5.7	5.75				3	3.5	3.83
16 ウグイス	12	9.8	9.86	3	11.1	5.14	5	5.9	6.38
17 セッカ				4	14.8	6.86			
18 メジロ	48	39.0	39.45				36	42.4	45.96
19 ホオアカ				1	3.7	1.71			
20 ミヤマホオジロ	8	6.5	6.57						
21 アオジ	6	4.9	4.93	2	7.4	3.43	12	14.1	15.32
22 ハシブトガラス	2	1.6	1.64	8	29.6	13.71	4	4.7	5.11
種 数	14			11			9		
個 体 数	123		102.00	27		46.26	85		108.51
時 間 (分)	73			35			47		

おわりに

この4日間の調査では、アカコッコは目撃できなかった。諏訪之瀬島では夏期には集落や森林に比較的よく生息し、トカラ列島では留鳥とされている。筆者はこれまで中之島他、トカラ列島の他の島々を冬期に何回か調査しているが、アカコッコを目撃したことがない。冬期には島内で分散するだけでなく、他の地域へ移動していることも考えられる。今後、この問題については検討する必要があると思われる。

参考・引用文献

鹿児島県. 1987. 鹿児島県の野鳥.

鹿児島大学野鳥研究会. 1996. 南西諸島トカラ列島における鳥相. WWF Japan 1995年度南西諸島自然保護特別事業報告.

迫 静夫. 1991. トカラ列島の鳥相. トカラ列島学術調査報告: 118-166. 鹿児島県.

Shin-ichi Hanawa and Sadayosi Tobai. 1994. Bird Survey of Yokoate-jima and Suwanose-jima, Tokara Islands. WWF Japan Science Report 2(2): 187-197.